

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

幸せづくり 家づくり

グループの名称

幸せづくり 家づくりの会

直近採択グループ番号

04-0416-0622

(グループ代表者)

代表者名

藪 茂樹

代表者印

代表者所属先

株式会社ジール

代表者所在地

広島県山県郡北広島町有田3413

代表者電話番号

0826-72-2292

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ジール

事務局担当者名

藪 広志

印

事務局郵便番号

731-1533

事務局所在地

広島県山県郡北広島町有田3413

事務局電話番号

08-2672-2292

事務局FAX

08-2672-2469

事務局担当者E-mail

hiroshi@zeal-ie.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	幸せづくり 家づくり
2. グループの名称(必須)	幸せづくり 家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0416-0622
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県、広島県、山口県、島根県
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	藪 茂樹
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ジール
8. グループ代表者所在地(必須)	広島県山県郡北広島町有田3413
9. グループ代表者電話番号(必須)	0826-72-2292
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ジール
11. グループ事務局担当者名(必須)	藪 広志
12. グループ事務局郵便番号(必須)	731-1533
13. グループ事務局所在地(必須)	広島県山県郡北広島町有田3413
14. グループ事務局電話番号(必須)	08-2672-2292
15. グループ事務局FAX番号(必須)	08-2672-2469
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	hiroshi@zeal-ie.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	2	
V. 設計	6	
VI. 施工	7	
VII. 木材を扱わない流通	4	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	桧	大分県、広島県、島根県	合法木材証明制度	3	国内
	桧	島根県	しまねの木認証制度	1	国内
	杉	愛媛県、島根県	合法木材証明制度	3	国内
	杉	島根県	しまねの木認証制度	1	国内
ハイブリッドビーム	広島県	合法木材証明制度	3	国内	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	グループ内の施工店の今年度の施工確定棟数、予定棟数をもとに確実に申請できるように配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸				
当初予算	採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 幸せづくり 家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、広島県、山口県、島根県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 幸せづくり 家づくりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0416-0622	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・断熱材には、天井・壁ともに高性能グラスウールを使用し、サッシはアルミ樹脂複合サッシとする。高性能グラスウールは、通常のグラスウールより密度が高く、繊維が細かいため、グラスウール中の空気が細分化され断熱性能が向上する。アルミ樹脂複合サッシは、アルミより熱を伝えにくい樹脂を複合しており、ガラスもLow-Eガラスのため、冬期の熱損失削減対策だけでなく、夏期の日射取得も削減できる。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・使用する地域材を活用し伝統的である従来工法若しくは、構造材を最小限にしか削らず施工できる金物工法と併用できるAPS工法を採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・遮熱、外壁の劣化に備え、陽当たり・通風を考慮した建物の配置計画とする。(隣地との距離、建築基準法の制限を受ける場合は別途) ・パッシブデザインを取り入れた建物形状・構造、材料を採用する。	◎
④①～③の背景	・中国地方及び兵庫県の気候は、比較的温暖な気候といえるが、地域によっては日本海式気候と瀬戸内気候の2つに分かれている。日本海沿岸から中国山地にかけては、冬季において積雪が多く非常に寒い気候となっている。また、瀬戸内海側は降水量も少なく夏が非常に暑いという特徴がある。これらの気候条件をもとに、地域型住宅の目標設定をしている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	採択された物件以外についても、グループで決めたルールを準用する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・土台及び柱は3.5寸角以上を使用する。 ・管柱は含水率15%以下、ヤング係数E-70以上とし、全数検査を実施する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材は、天井・壁ともに高性能グラスウール14K相当・圧100以上を採用する。サッシは、アルミ樹脂複合サッシとする。また、玄関ドアは断熱仕様4.00(W/m ² ・K)以上とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記の2項目に加え、耐力壁の量を建築基準法の1.5倍以上とすることを標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループでの標準仕様(住設・建材・外装材)を決め統一化することでお客様への提供価格を下げる。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様を変更・追加するときは、グループで会議を開催・決定し、各メーカー等への連絡は一括して事務局にて行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・職人講習会を実施し、生産から施工までの無駄をなくす。 ・講習会終了時にIDを発行し、IDのない業者の現場への入場を禁止する。 ・毎月の会議の議題とし、協議を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・上記記載の職人講習会の開催・IDの発行。 実施状況の確認を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工基準を定めたチェックリストを活用し、施工精度に差が出ないようにする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お客様の要望があれば、グループ内の他の施工店が検査員となり、第三者として検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各施工店が統一の見積書・積算システムを使用し、同一の施工価格とすることで施工店が違ふことでの価格差が生じないようにする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構造の安定とバランスを考慮し、柱・耐力壁の直下率を70%以上とする。(耐震等級3相当とする)	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・断熱材、サッシ等の標準仕様については、定期的に見直しを行う。 グループでの会議を1回/月開催し、会議毎の状況を確認する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 幸せづくり 家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、広島県、山口県、島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 幸せづくり 家づくりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0416-0622	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートを使用して、定期的に点検を実施する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証の「あんしんいえかて」に登録して、維持管理の経過を蓄積していく。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴蓄積サービスの登録によりweb上にて常時確認を行う。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートを使用して、定期的に点検を実施する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートを使用して、補修の度合いと要否を判断する。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検・補修を行った場合、その都度住宅履歴情報蓄積サービスへの登録を行い、実施の確認をする。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人講習会、グループ内検討会議により勉強会を行っていく。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築段階における構造見学会、完成後の完成見学会において、入居後のメンテナンスの説明会や関係業者を交えたDIY体験会を開催する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ローン相談会、暮らし方の相談会(料理・園芸・アロマ・入浴等)の開催をする。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで行う毎月の会議を維持管理検討委員会を兼ねるものとする。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お引越し後の定期点検を行い、30年間実施する。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の物件情報を共有し、会員が脱退・倒産等で維持管理が出来なくなった場合グループ構成員で対処する。 ・物件毎に積立金をすることで万が一に備える。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険に必ず加入し、瑕疵保険会社からの情報提供により勉強会の議題の一つとする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人講習会において、技術研修・指導を行う。毎月の会議において勉強会を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートを使用し写真による確認を行う。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で代表を決定し、施工を行った物件の中から選り検査を行う。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店の施工計画棟数及び時期を事務局に提出し、その他構成員と協議する。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様の性能を段階的に上げていき、新たな技術を導入した場合、結果をグループ内で共有し技術の向上を目指す。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内勉強会を開催し、グループ内で知識の共有を行う。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 4 事務局より講習会開催情報の共有・伝達を行う。	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 4 事務局より講習会開催情報の共有・伝達を行う。	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の開催情報を共有する。 ・事務局よりグループ構成員へ参加を呼び掛ける。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー各社が行う説明会・研修へ参加し、グループ内でも情報を共有する。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな技術等を導入した場合、使用結果をグループ内で共有し、積極的に取り入れていく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 幸せづくり 家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、広島県、山口県、島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 幸せづくり 家づくりの会	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0416-0622	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	【土台】 桧 【管柱】 桧又は、杉 【梁・桁】 ハイブリッドビーム又は、米松
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・原木供給者、製材業者より毎月情報を開示してもらう。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・原木供給者、製材業者より毎月情報を開示してもらう。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が随時ヒアリングを行い、地域材の安定的な確保に努める。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 空き家等の古くなった建物を壊すのではなく、再生することで、伝統的なデザインを残していく。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 見学会等のイベントにて襖や障子の張替えを実施し、参加者へ教える。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域で開催されるまちづくりワークショップや街並み散策等のイベントに参加する。
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建物だけではなく外構にも竹垣や柚垣等を使用し、和の要素を取り入れる。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	・職人講習会・見学会開催時に募金を募る。 ・被災地の資材(木材等)の活用に取り組み復興に寄与する。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	・職人講習会・見学会開催時に募金を募る。 ・被災地の資材(畳表イグサ等)の活用に取り組み復興に寄与する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 幸せづくり 家づくり	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 兵庫県、広島県、山口県、島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 幸せづくり 家づくりの会	<small>(結成年)</small> 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0416-0622	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
・認定低炭素住宅の性能・特徴は、下記内容とする 1、断熱材は、天井・壁ともに高性能グラスウール14K相当厚100以上を使用する。 2、サッシは、アルミ樹脂複合サッシとする。また、玄関ドアは、断熱仕様4.00(W/m ² ・K)以上とする。 3、外皮計算をすることで平成25年省エネ基準に適合する住宅とする。 * 外皮平均熱還流率:0.87以下 冷房期の平均日射熱取得率:2.80以下 4、住宅に使用する水栓は、全て節水型とするか、食器用洗浄機の設置をする。 5、高効率給湯器を設置する。 6、設置する照明器具は全てLED照明とする。 7、室内換気は第3種換気とする。 8、外構工事にて敷地内を緑化を検討する。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。